

## 設置の背景・概要 等

免疫疾患・がん分野では分子標的治療法として、小分子化合物・抗体などが登場し、ある程度の治療効果は得られているが、依然としてその効果は不十分で完全治癒を目指すには程遠い状況である。かかる状況から更なる有効な新規治療薬の開発が望まれる。本邦では基礎研究成果では高い評価を受けているが、これらの成果は医療現場に届いておらず、国民にその成果が還元されていないと指摘されている。特に最近の傾向を見るとがん免疫病領域の新薬はほとんど欧米発の薬剤で占められ、日本発の新薬は数少ない状況である。

この様な状況を打開するためにキッセイ薬品工業株式会社は順天堂大学に免疫病（自己免疫疾患やGVHD）・がん領域においてその基礎的研究成果を臨床現場にまでつなげる研究を行う「免疫病・がん先端治療学講座」を設立した。当講座はCD26分子及びその他の関連分子を標的とした基礎から臨床応用までのトランスレーショナルリサーチを行うことを研究のプライオリティーとして、特にCD26分子の免疫細胞及びがん細胞における機能解析、CD26抗体の分子作用機構の解析、その会合分子やCD26リガンド分子の分子生物学的解析及びその臨床応用の研究を主として行い、更にがん、免疫病の予後及び診断バイオマーカーの検索及び確立及びそれらに関係する若手研究者や支援医療者の教育研修を行うことを目的とする。

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Okamoto T, Yamazaki H, Hatano R, Yamada T, Kaneko Y, Xu CW, Dang NH, Ohnuma K, Morimoto C. Targeting CD26 suppresses proliferation of malignant mesothelioma cell via downmodulation of ubiquitin-specific protease 22. <i>Biochem Biophys Res Commun</i> . 2018; 504(2): 491-498	
英文原著	2		Nishida H, Hayashi M, Morimoto C, Sakamoto M, Yamada T. CD26 is a potential therapeutic target by humanized monoclonal antibody for the treatment of multiple myeloma. <i>Blood Cancer J</i> . 2018; 8(11): 99	
英文原著	3		Ikeda T, Kobayashi S, Morimoto C. Effects of repetitive transcranial magnetic stimulation on ER stress-related genes and glutamate, $\gamma$ -aminobutyric acid and glycine transporter genes in mouse brain. <i>Biochem Biophys Rep</i> . 2018; 17: 10-16	
区分	番号		全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文総説	1		Ohnuma K, Hatano R, Komiya E, Otsuka H, Itoh T, Iwao N, Kaneko Y, Yamada T, Dang NH, Morimoto C. A novel role for CD26/dipeptidyl peptidase IV as a therapeutic target. <i>Front Biosci(Landmark Ed)</i> . 2018;23:1754-1779	
英文総説	2		Ohnuma K, Hatano R, Dang NH, Morimoto C. Rheumatic diseases associated with immune checkpoint inhibitors in cancer immunotherapy. <i>Mod Rheumatol</i> . 2018 Oct 4:1-32 [Epub ahead of print]	

区分	番号	全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
英文著書	1	Hatano R, Ohnuma K, Yamada T, Okamoto T, Komiya E, Otsuka H, Itoh T, Yamazaki H, Iwao N, Kaneko Y, Dang NH, Morimoto C. The use of the humanized anti-CD26 monoclonal antibody YS110 as a novel targeted therapy for refractory cancers and immune disorders. In: Advances in Medicine and Biology, Nova Science Publishers, Inc., Hauppauge, NY, Editor: Leon V. Berhardt, Volume 129: Chapter 1: 1-44, 2018	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1	Yamada T, Madokoro H, Yamada K, Nishida H, Morimoto C, Sakamoto M, Hayashi M. Anti-CD26 Humanized Monoclonal Antibody Conjugated To Triptolide Inhibits Mesothelioma Cell Growth Via Transportation Into Nucleus And Impaired RNA Polymerase II. The 6th JCA-AACR Special Joint Conference, The Latest Advances in Lung Cancer Research: From Basic Science to Therapeutics, July 10-12, 2018 (Kyoto Tokyu Hotel, Kyoto, Japan)	
区分	番号	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文総説	1	大沼圭、波多野良、森本幾夫. 抗CD26抗体. 腫瘍内科 2018;22:190-197	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	古宮栄利子、波多野良、大塚春奈、伊藤匠、松田浩則、須賀康、大沼圭、富永光俊、森本幾夫、高森建二. 機械的かゆみの調節メカニズムの解明. 第82回日本皮膚科学会東京支部、2018年12月1日、東京（ザ・プリンスタワー東京）	
国内学会発表	2	波多野良、大塚春奈、古宮栄利子、伊藤匠、岩尾憲明、山田健人、森本幾夫、大沼圭. Interleukin-26-targeted therapy for the control of chronic GVHD. 第80回日本血液学会学術集会 2018年10月12日、大阪（大阪国際会議場）	
国内学会発表	3	古宮栄利子、波多野良、伊藤匠、松田浩則、大沼圭、森本幾夫、富永光俊、高森建二. CD26/DPPIVはエンドモルフィンによる機械的かゆみを制御する. 第28回国際かゆみシンポジウム、2018年9月29日、東京（経団連会館カンファレンス）	
国内学会発表	4	古宮栄利子、波多野良、大塚春奈、伊藤匠、大沼圭、富永光俊、森本幾夫、高森建二. CD26分子はDPPIV酵素活性によって乾癬のかゆみを調節する. 第33回日本乾癬学会学術大会、2018年9月7日、松山（松山全日空ホテル）	
国内学会発表	5	伊藤匠、波多野良、古宮栄利子、大塚春奈、富永光俊、高森建二、森本幾夫、大沼圭. 乾癬における新規炎症性サイトカインIL-26の役割と分子標的療法の開発. 第33回日本乾癬学会学術大会 2018年9月7日、松山（松山全日空ホテル）	
国内学会発表	6	山田健人、間所裕子、西田浩子、森本幾夫、坂元亨宇、林睦. Anti-CD26 humanized antibody-triptolide conjugate moves into nucleus and impairs RNA polymerase II. 第107回日本病理学会総会、2018年6月21日、札幌（ロイトン札幌他）	
国内学会発表	7	波多野良、大沼圭、石井智徳、伊藤匠、岩田哲史、奥村康、関川巖、森本幾夫. 全身性エリテマトーデスのステロイド減量困難例におけるCD26陰性T細胞サブセットの増加について. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会 2018年4月26日、東京（東京国際フォーラム）	
国内学会発表	8	伊藤匠、波多野良、岩田哲史、大沼圭、森本幾夫. 難治性自己免疫疾患における新規炎症性サイトカインIL-26の役割と分子標的療法の開発. 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会 2018年4月26日、東京（東京国際フォーラム）	
国内学会発表	9	岩尾憲明、大沼圭、大塚春奈、波多野良、古宮栄利子、伊藤匠、森本幾夫. 急性GVHDマウスモデルにおけるHMGB1の動態に関する検討. 第40回日本造血細胞移植学会、2018年2月、札幌	
区分	番号	発明者名、発明の名称、出願番号	国際共同
知的財産権の出願・取得等	1	森本幾夫、波多野良、山田健人、大沼圭:抗ヒトCD26モノクローナル抗体:特願2018-049308	